

東京大学生産技術研究所

ビッグデータ価値協創 プラットフォーム工学 社会連携研究部門 シンポジウム



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



東京大学
生産技術研究所
Institute of Industrial Science,
The University of Tokyo

主催 : 東京大学 生産技術研究所
ビッグデータ価値協創プラットフォーム工学 社会連携研究部門
共催 : 株式会社 日立製作所
問合せ先 : 東京大学 生産技術研究所 ビッグデータ価値協創プラットフォーム工学 社会連携研究部門
事務局 : vccp-office@tkl.iis.u-tokyo.ac.jp

価値協創が拓く データ活用・生成 AI の未来

日時 2024年12月13日(金) 15:00~17:30
(開場14:30)

場所 東京大学 生産技術研究所
駒場リサーチキャンパス
S棟 プレゼンテーションルーム

申込 会場の都合上、事前申込をお願いします。

申込期間 2024年11月11日(月)~2024年12月12日(木)

<https://www.tkl.iis.u-tokyo.ac.jp/co-creation/info20241213.html>

定員 80名



開会挨拶

15:00

大口 敬 東京大学生産技術研究所 副所長

日立挨拶

15:05

阿部 淳 株式会社 日立製作所 執行役副社長



第一部

15:15 成果報告

ビッグデータ価値協創プラットフォーム工学社会連携研究部門の活動

本研究部門は、実社会の大規模データと先進的な情報基盤技術を駆使し得る実験拠点を構築し、社会課題の解決を図る挑戦的な研究を進めてきた。本講演では、研究部門設立の趣旨を振り返り、これまでの活動を報告する。

合田 和生 東京大学生産技術研究所 教授



試行錯誤の高速化が導く業務の高度化

いかに素早く試行錯誤を行うかがDXのカギである。協創活動から得られたビッグデータハンドリングの高速化の知見を紹介する。

佐藤 淳平 株式会社 日立製作所 マネージド&プラットフォームサービス事業部



ビッグデータ向けシステムリソース最適化技術の報告

製造業DXなどのデータベース容量の大きさが課題となるシステムを対象に、リソースの消費動向に関する評価実験結果を報告する。また、システムリソース最適化に関する我々の研究成果であるデータベースの物理設計について紹介する。

高尾 大樹 株式会社 日立製作所 研究開発グループ
デジタルサービスプラットフォームイノベーションセンター



休憩

第二部

16:00 今後の展望

講演「生成AIにより社会課題を解決する日立的取り組みと未来への挑戦」

生成AIの産業界への適用に向けて、日立的の現在の取組みから将来に向けたデジタルサービスおよびプラットフォーム技術の確立をめざす挑戦を語る。

花岡 誠之 株式会社 日立製作所 デジタルサービス研究統括本部 統括本部長



基調講演

喜連川 優 東京大学 特別教授、情報・システム研究機構機構長



パネルディスカッション「生成 AI 時代のデータ基盤」

パネリスト 喜連川 優、阿部 淳、花岡 誠之

モデレータ 合田 和生

パネル展示

17:00 ~ 17:30

会場案内

東京大学 生産技術研究所
駒場リサーチキャンパス S棟 プレゼンテーションルーム
(東京都目黒区駒場4-6-1)

小田急線/東京メトロ千代田線

- ・代々木上原駅より徒歩18分
- ・東北沢駅東口より徒歩12分

京王井の頭線

- ・駒場東大前駅西口より徒歩12分
- ・池ノ上駅より徒歩12分

